

月例統計報告（平成28年10月）

平成28年10月31日
企画振興部

1 秋田県の人口（秋田県の人口と世帯（月報）（平成28年10月1日現在））

本県の総人口は、1,009,691人（男 473,493人 女 536,198人）
前月に比べ、961人（0.10%）減少した。
自然動態 716人の減少（出生者 460人 死亡者 1,176人）
社会動態 245人の減少（県内への転入者 841人 県外への転出者 1,086人）
この1年間では、13,460人（1.32%）の減少となる。

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向（鉱工業生産指数月報（平成28年8月分））

秋田県鉱工業生産指数（平成22年=100）
季節調整済指数 97.5 : 前月比 0.8%上昇（2か月振りの上昇）
原指数 94.8 : 前年同月比 0.4%上昇
全国の鉱工業生産指数（平成22年=100）
季節調整済指数 97.8 : 前月比 1.3%上昇

(2) 雇用・労働情勢（毎月勤労統計調査速報（平成28年8月分））

賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比（前月比）は指数により算出
現金給与総額 246,316円 : 前月比 11.7%減、前年同月比 9.8%増
総実労働時間 150.6時間 : 前月比 2.1%減、前年同月比 3.2%増
常用雇用指数 98.3（平成22年=100）
: 前月比 0.3%増、前年同月比 0.2%減

(3) 物価動向（消費者物価指数（平成28年8月分））

秋田市消費者物価指数 99.5（平成27年=100）
前月比0.1%下落、前年同月比0.7%下落
全国の消費者物価指数 99.7（平成27年=100）
前月と同水準、前年同月比0.5%下落

(4) 景気動向（景気動向指数（平成28年8月分））

先行指数 84.9 前月を0.1ポイント上回り、5か月振りに上昇
一致指数 118.5 前月を0.3ポイント下回り、5か月振りに下降
遅行指数 105.1 前月を0.2ポイント下回り、4か月振りに下降

1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報)(平成28年10月1日現在)」)

(1) 平成28年10月1日現在の本県の総人口は、1,009,691人(男 473,493人 女 536,198人)で、前月に比べ961人(0.10%)減少した。

自然動態 716人の減少(出生者 460人 死亡者 1,176人)

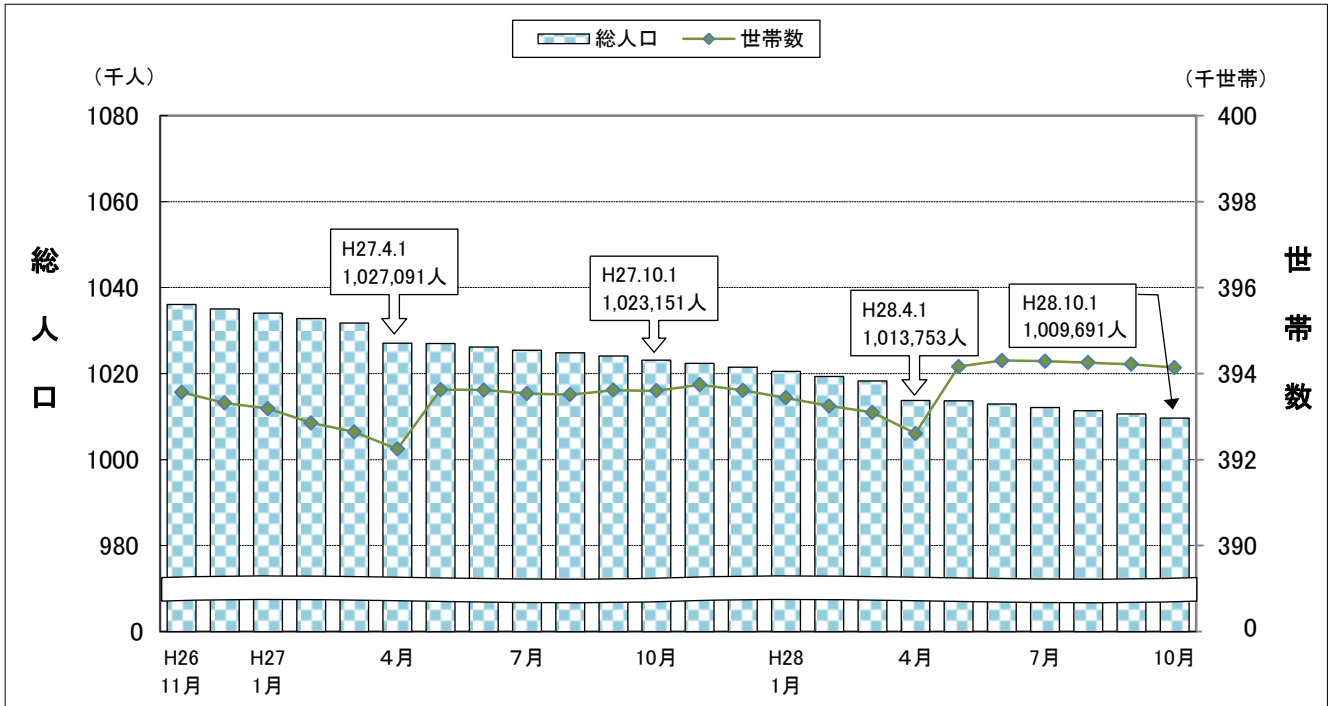
社会動態 245人の減少(県内への転入者 841人 県外への転出者 1,086人)

(2) この1年間では、13,460人(1.32%)の減少となる。

自然動態 9,360人の減少(出生者 5,739人 死亡者 15,099人)

社会動態 4,100人の減少(県内への転入者 13,323人 県外への転出者 17,423人)

(3) 世帯数は394,141世帯で、前月に比べ78世帯減少した。



○自然動態と社会動態の推移

年月	自然動態			社会動態			人口増減 =自然増減 +社会増減
	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	
H27.10.1 ~ H28.9.30	5,739	15,099	-9,360	13,323	17,423	-4,100	-13,460
H27.10月 一か月間	469	1,347	-878	1,021	896	125	-753
11月 "	454	1,253	-799	652	743	-91	-890
12月 "	458	1,311	-853	703	859	-156	-1,009
H28.1月 "	491	1,460	-969	615	805	-190	-1,159
2月 "	465	1,287	-822	707	911	-204	-1,026
3月 "	506	1,276	-770	2,421	6,212	-3,791	-4,561
4月 "	453	1,259	-806	2,513	1,788	725	-81
5月 "	532	1,266	-734	948	948	0	-734
6月 "	472	1,178	-706	829	913	-84	-790
7月 "	469	1,093	-624	985	1,099	-114	-738
8月 "	510	1,193	-683	1,088	1,163	-75	-758
9月 "	460	1,176	-716	841	1,086	-245	-961
過去1年間の累計	5,739	15,099	-9,360	13,323	17,423	-4,100	-13,460

(参考)

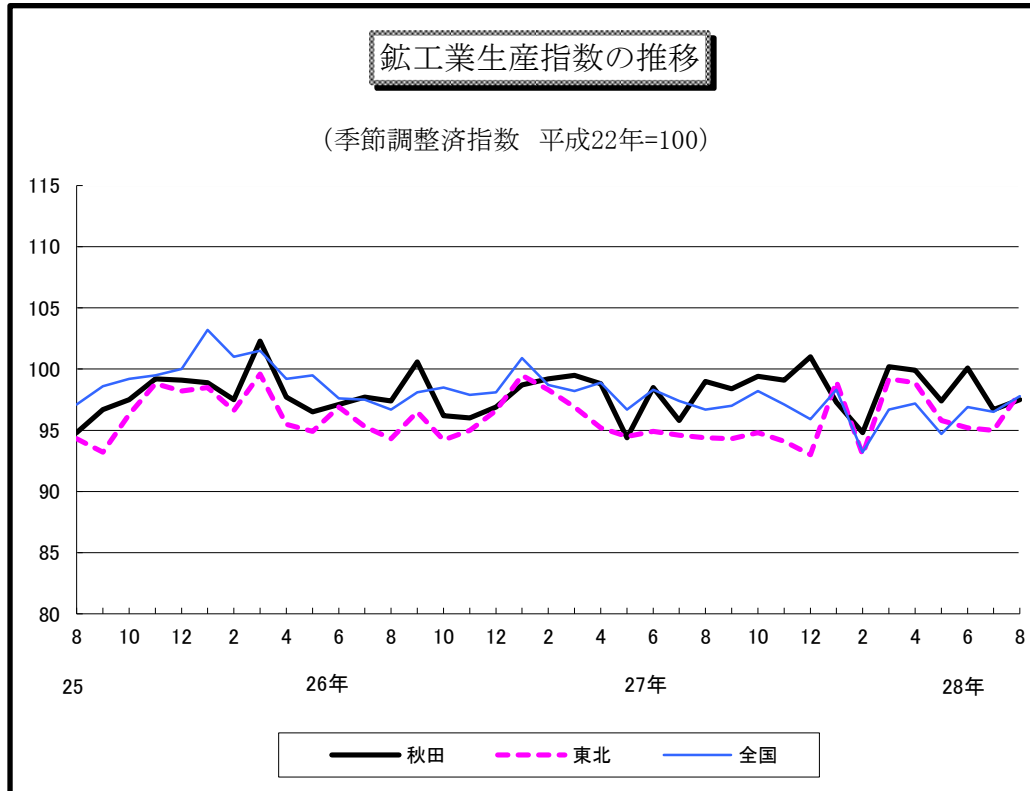
H27.9月 一か月間	489	1,134	-645	937	1,227	-290	-935
-------------	-----	-------	------	-----	-------	------	------

2 秋田県経済の動き

(1)製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(平成28年8月分)」)

平成28年8月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が97.5で前月比0.8%の上昇となり、2か月振りに上昇した。また、原指数は94.8で前年同月比0.4%の上昇となった。

なお、全国の季節調整済指数は97.8で前月比1.3%の上昇となり、東北は98.1で、前月比3.3%の上昇となった。



○主な増減要因(対前月)

業種名	指数値	前月比(%)	寄与率(%)	主な品目名
□上昇した主な業種				
金属製品工業	118.1	47.6	183.5	配管工事用附属品、水門
パルプ・紙・紙加工品工業	115.3	48.8	175.2	段ボール原紙、コート紙
輸送機械工業	111.3	13.0	111.1	駆動伝導操縦装置部品、鉄道車両
□低下した主な業種				
その他工業	147.6	▲ 12.2	▲ 189.0	パッキン類、理美容教材
はん用・生産用・業務用機械工業	90.5	▲ 8.9	▲ 139.8	印刷機械、粉末冶金用金型
電子部品・デバイス工業	101.3	▲ 1.5	▲ 66.5	粉末冶金製品(磁性材料)、モス型メモリ

※「寄与率」は、鉱工業総合指数の上昇または低下に対し、各業種のうちどの業種がどれだけ全体に影響を与えたかを構成比で示したものである。

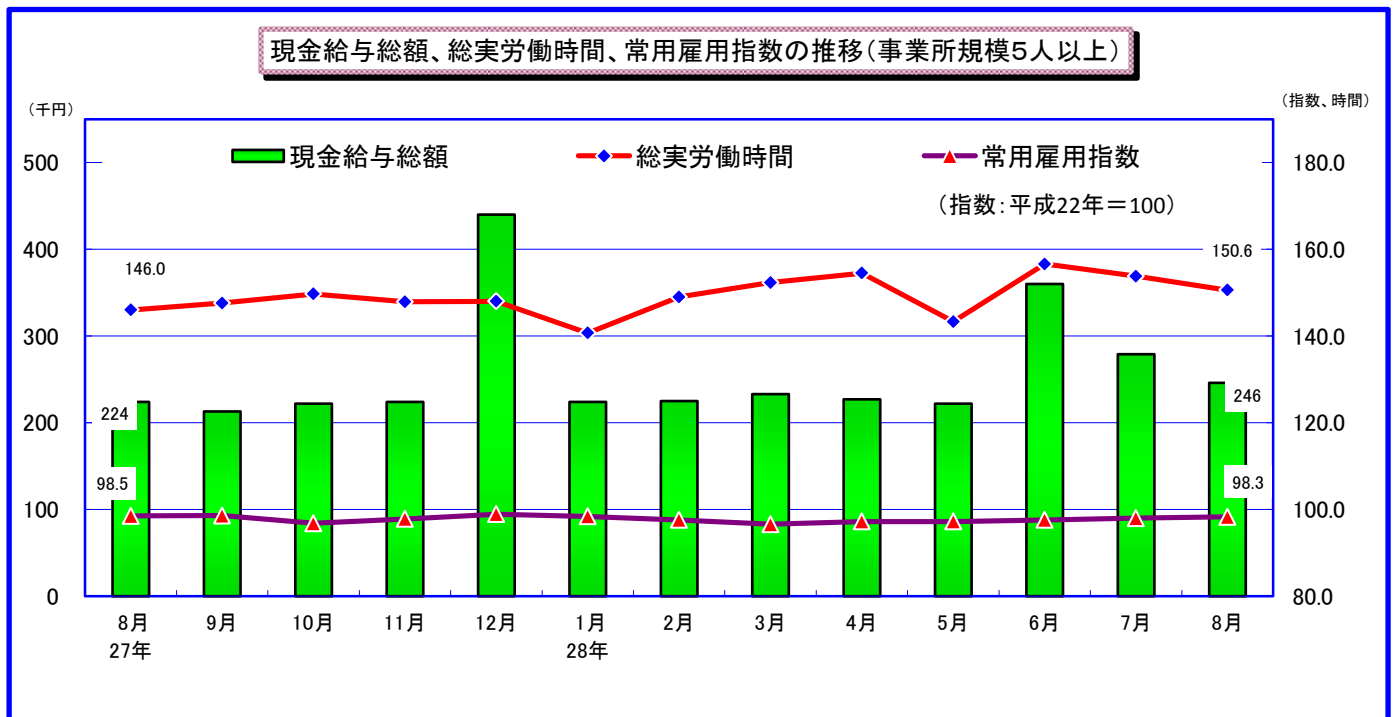
(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(平成28年8月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

平成28年8月の現金給与総額は、246,316円となり、前月比11.7%の減、前年同月比9.8%の増となった。

総実労働時間数は150.6時間で、前月比2.1%の減、前年同月比3.2%の増であった。

常用雇用指数は98.3で、前月比0.3%の増、前年同月比0.2%の減となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額(±5%以上)

増加した主な産業	金額(円)	前年比(%)
医療、福祉	312,419	25.7
建設業	320,700	16.1
宿泊業、飲食サービス業	122,756	16.1
減少した主な産業	金額(円)	前年比(%)
複合サービス事業	265,134	▲ 9.1
金融業、保険業	276,487	▲ 6.2

2 総実労働時間(±5%以上)

増加した主な産業	時間	前年比(%)
教育、学習支援業	134.1	17.2
学術研究、専門・技術サービス業	159.0	10.7
卸売業、小売業	152.6	9.2
減少した主な産業	時間	前年比(%)
複合サービス事業	136.7	▲ 13.2
情報通信業	163.1	▲ 6.9

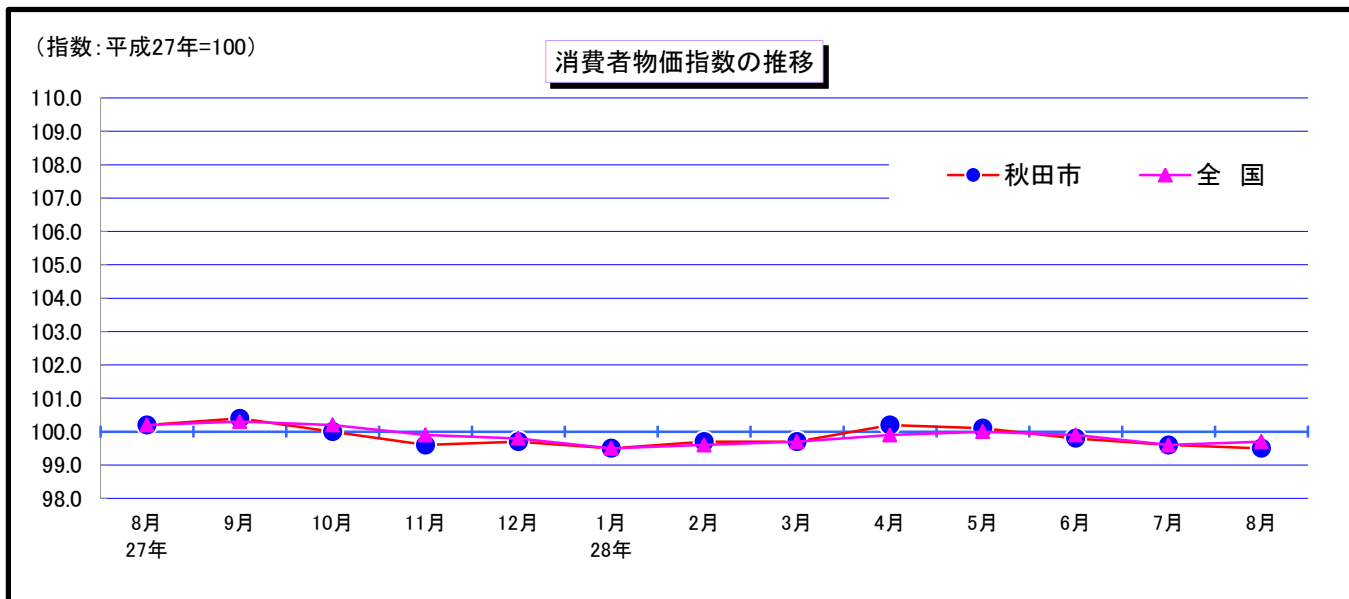
3 常用雇用指数(±5%以上)

増加した主な産業	指数	前年比(%)
学術研究、専門・技術サービス業	110.0	6.1
減少した主な産業	指数	前年比(%)
サービス業	77.0	▲ 5.5
情報通信業	76.5	▲ 5.4

(3) 物価動向(「消費者物価指数(平成28年8月分)」)

平成28年8月の秋田市消費者物価指数は99.5(平成27年=100)となり、前月比0.1%下落、前年同月比0.7%下落。

また、全国の消費者物価指数は99.7となり、前月と同水準、前年同月比0.5%下落。



10大費目指数の動き(平成27年=100):秋田市

	食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費			
	総合	生鮮食品を除く総合	持ち家の購入を除く総合												
当月指数	99.5	99.6	99.5	100.6	100.8	97.4	100.1	91.1	97.3	104.3	102.0	97.9	104.3	101.1	101.0
前月比(%)	-0.1	0.0	-0.1	0.0	-0.2	-1.1	-0.3	-0.5	-1.0	0.6	0.0	0.2	0.0	0.7	-0.1
前年同月比(%)	-0.7	-0.6	-0.8	0.5	0.5	-3.7	0.3	-8.7	-1.8	6.5	1.6	-2.8	3.2	0.0	0.7

○総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

[上昇]

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
被服及び履物	洋服	9.4	0.12
食料	菓子類	5.7	0.14
保健医療	保健医療サービス	1.7	0.04

[下落]

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
光熱・水道	他の光熱	▲30.3	▲0.48
交通・通信	自動車等関係費	▲4.2	▲0.34
家具・家事用品	家庭用耐久財	▲8.8	▲0.11

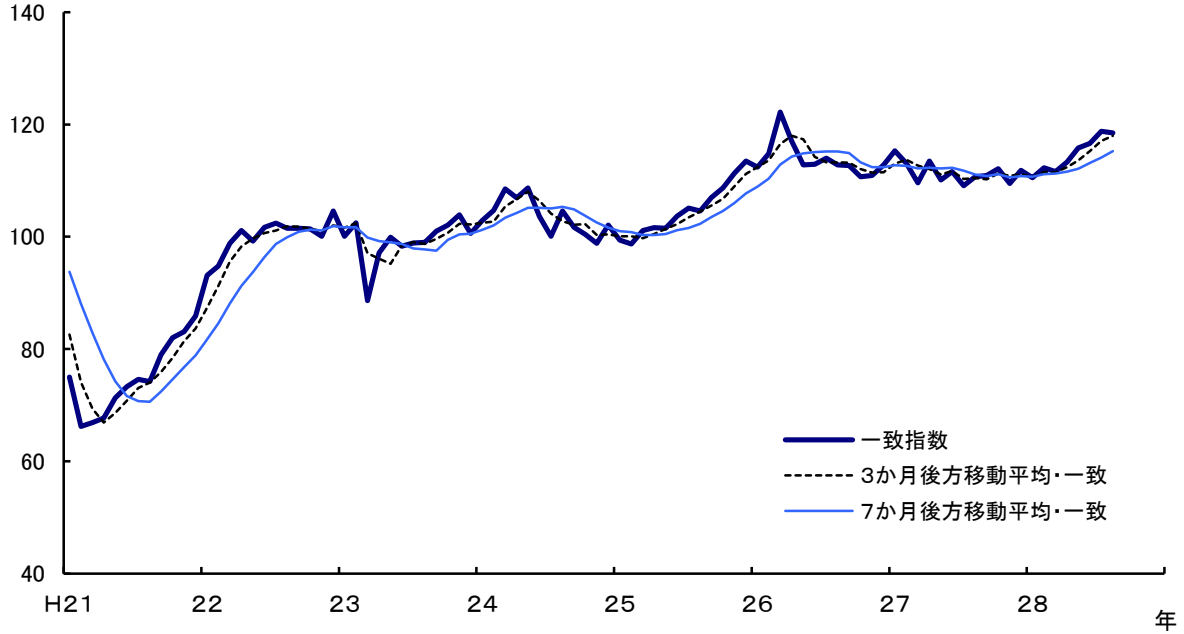
※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向 (「秋田県景気動向指数(平成28年8月分)」)

先行指数 84.9 前月を0.1ポイント上回り、5か月振りに上昇した。
 一致指数 118.5 前月を0.3ポイント下回り、5か月振りに下降した。
 遅行指数 105.1 前月を0.2ポイント下回り、4か月振りに下降した。

一致指数のグラフ

(平成22年=100)



○一致指数採用指標の前月比較

指 標 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.22	1.17	-0.05	-2.30
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	-10.6	-3.4	7.20	-0.74
所定外労働時間指数(22年=100)	71.6	68.2	-4.75%	-0.32
鉱工業生産指数(22年=100)	96.7	97.5	0.83%	0.74
生産財生産指数(22年=100)	107.9	106.7	-1.11%	0.25
百貨店・スーパー販売額(%)	1.1	-2.9	-4.00	-0.35
投資財生産指数(22年=100)	90.0	90.5	0.56%	0.60
建築着工床面積(千㎡)	59	79	33.90%	1.86
CI 一致指数(全体値)	118.8	118.5	-0.3	

景況ダイジェスト（平成28年10月）

対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日	内 容															
県 内	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 平成28年10月14日公表	<p>【概況】県内景気は、生産面の一部に新興国経済の減速の影響が見られるものの、基調としては緩やかな回復を続けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産は、下げ止まっている。 ・需要面をみると、公共投資は、持ち直している。住宅投資は、下げ止まっている。設備投資は、全体として増加している。個人消費は、全体としては堅調に推移している。 ・雇用・所得環境は、改善している。 ・消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年を下回った。 															
	県内経済動向調査結果 企業活性化・雇用緊急対策本部 （産業政策課） 平成28年8月分 平成28年10月11日公表	<p>【概況】県内経済は、個人消費は全体としては横ばいに推移し、製造業は横ばいの動きとなっており、雇用は高水準で推移している。</p> <p>製 造 業：海外向け製品に円高等による影響が引き続き見られるものの、医療機器や輸送機械等が好調で横ばいの動きとなっている。</p> <p>建 設 業：公共投資は2か月連続で前年同月を下回った。</p> <p>小 売 業：全体としては横ばいの動きとなっている。</p> <p>サ-ビス業：全体としては横ばいの動きとなっている。</p> <p>[全業種] D I 値を前月と比較すると、3か月前との業況比較は▲7.7から0.6、現在の資金繰りは▲11.0から▲8.5、3か月先の業況見通しは、2.6から▲1.3となっている。</p>															
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 平成28年8月分 平成28年10月号	<p>【概況】県内経済は、全体として緩やかに持ち直しつつある。</p> <p>電子部品の生産が上向きつつあるほか、機械金属も高水準を維持している。建設は、公共工事が減少基調で推移している一方、住宅着工は持ち直しの動きにある。個人消費も弱いながらも持ち直しの動きが見られる。雇用情勢は改善基調にあるが、一部業種で逼迫感が強い状況が続いている。</p>															
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 平成28年10月号	<p>【県内経済概況】依然足踏み感が残るものの、足元は持ち直しに向けた動きが見られる県内経済</p> <p>最近の県内経済は、足元の個人消費は依然回復感には乏しいものの上向きの動きが見られ、住宅投資が増加傾向にあるものの、公共投資は減少傾向で推移しています。この間、生産活動は総じてみれば引き続き一進一退の状況ながら、雇用情勢は有効求人倍率が過去最高水準にあって改善が続くなど、県内経済は依然として足踏み感が残るものの、足元は持ち直しに向けた動きが見られます。</p>															
	秋田県内の一般職業 紹介状況について 秋田労働局職業安定部 平成28年8月分 平成28年9月30日公表	<p>【概況】平成28年8月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人倍率（季節調整値）は1.17倍となり、前月を0.05ポイント下回った。（全国平均1.37倍、前月と同じ水準）</p> <p>有効求人数（季節調整値）は前月比4.4%減少、有効求職者数（同）は同水準。</p> <p>雇用保険受給者実人員は、前年同月に比べ3.4%減少となり、同比39か月連続で減少した。</p> <p>県内の雇用失業情勢は、改善の動きが続いている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 新規求人数は8,055人、前年同月比3.0%（231人）増加。同比2か月連続で増加した。 ② 有効求人数は21,873人、前年同月比1.3%（280人）増加。同比32か月連続で増加した。 ③ 新規求職者数は4,016人、前年同月比4.9%（208人）減少。同比37か月連続で減少した。 ④ 有効求職者数は16,985人、前年同月比8.3%（1,536人）減少。同比80か月連続で減少した。 															
	秋田県企業倒産状況 （株）東京商工リサーチ秋田支店 平成28年9月度 平成28年10月4日公表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">（負債額1,000万円以上の企業倒産）</td> <td style="text-align: center;">倒産件数</td> <td style="text-align: center;">3件</td> <td style="text-align: center;">負債総額</td> <td style="text-align: center;">5億300万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">前年同月比</td> <td style="text-align: center;">-25.00%</td> <td></td> <td style="text-align: center;">+204.84%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">前年同月</td> <td style="text-align: center;">4件</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1億6,500万円</td> </tr> </table> <p>前年同月比で件数は1件減、負債額は204%増</p>	（負債額1,000万円以上の企業倒産）	倒産件数	3件	負債総額	5億300万円		前年同月比	-25.00%		+204.84%		前年同月	4件		1億6,500万円
	（負債額1,000万円以上の企業倒産）	倒産件数	3件	負債総額	5億300万円												
	前年同月比	-25.00%		+204.84%													
	前年同月	4件		1億6,500万円													

県	情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 平成28年9月分 平成28年10月12日公表	[業界判断指数]単位：％P	業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況		
		8月分D I	-22.5	-18.8	-25.0	-33.8	-25.0		
		9月分D I	-23.8	-15.7	-29.2	-26.2	-21.2		
		比較増減	-1.3	3.1	-4.2	7.6	3.8		
	県内	秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 平成28年9月分 平成28年10月13日公表	対前年度増減率 件数40.1%増、請負金額26.1%増 (金額単位：百万円)						
			発注者 区分	平成27年9月		平成28年9月		対前年度伸率(%)	
				件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
			国	34	2,072	50	2,668	47.1	28.8
			独立行政法人等	3	210	1	2	-66.7	-98.9
			県	164	3,474	274	7,232	67.1	108.1
市町村			125	5,217	131	3,894	4.8	-25.3	
地方公社			0	0	0	0	-	-	
その他※			3	198	5	288	66.7	45.3	
合計			329	11,173	461	14,086	40.1	26.1	
※「その他」発注者：国、独立行政法人等、地方公共団体を除く国土交通大臣が指定する指定公共工事発注者									
東	管内経済情勢報告 財務省東北財務局 秋田財務事務所 平成28年10月25日公表	項目	内容						
		総括判断	県内経済は、一部に弱さが残るものの、緩やかな持ち直しの動きが見られる						
		個人消費	緩やかな持ち直しの動きに足踏みが見られる						
		住宅建設	前年を上回っている						
		設備投資	28年度は増加見通し						
		公共事業	前年度を下回っている						
		生産活動	緩やかな持ち直しの動きに足踏みが見られる						
		企業収益	28年度は減益見通し						
		企業の景況感	「下降」超幅が縮小している						
		雇用情勢	緩やかに改善している						
東北	管内経済情勢報告 財務省東北財務局 平成28年10月25日公表	項目	内容						
		総括判断	管内経済は、回復しつつある						
		個人消費	一部に弱さが見られるものの、回復しつつある						
		住宅建設	前年を下回っている						
		設備投資	28年度は増加見通し						
		公共事業	高水準となっている						
		生産活動	緩やかに持ち直しつつある						
		企業収益	28年度は増益見通し						
		企業の景況感	「下降」超幅が縮小						
		雇用情勢	改善している						
全国	月例経済報告 内閣府 平成28年10月 平成28年10月25日公表	景気は、このところ弱さも見られるが、緩やかな回復基調が続いている。 ・個人消費は総じて見れば底堅い動きとなっている。 ・設備投資は、持ち直しの動きに足踏みが見られる。 ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。 ・生産は、持ち直しの動きが見られる。 ・企業収益は、高い水準にあるものの、改善に足踏みが見られる。企業の業況判断は一部に慎重さが見られるものの、おおむね横ばいとなっている。 ・雇用情勢は、改善している。 ・消費者物価は、横ばいとなっている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済で弱さが見られており、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。また、英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。							
		企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 9月調査分 平成28年10月3日公表	[業況判断D I]	〈大企業〉		〈中小企業〉		全規模合計	
			単位：％ポイント	製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業	
			2016 / 6月	6	19	-5	0	4	
			2016 / 9月	6	18	-3	1	5	
			変化幅	0	-1	2	1	1	